



夏の風物詩

校長 尾崎 淳一

暑過ぎる日が続きますね。私が子どもだった40～45年程前には、「暑い日」と言っても30℃を超すか超さないかという気温だったと記憶しています。それが今では、当時の30℃+10℃の40℃となっています。「今日の最高気温は35℃です」と聞くと、涼しいなあと感じてしまう私は、ついに思考回路が麻痺してしまったのでしょうか……。現在、15歳の竜北生の皆さんが私の年齢に追い付くまで、まだまだ40年以上が必要です。その頃の気温は、50℃になっていても不思議ではありません。怖い話ですね。

ところで、私の自宅の庭の木では、夏の風物詩の蝉が元気に鳴いています。



左の写真は「クマゼミ」です。昔は「蝉の王様」と呼ばれ、高い枝にとまることが多いため、かなりの貴重品でした。捕獲するには高いところによじ登るしかなく、お寺の塀や墓石に足を掛けた幼い私は、Myおばあちゃんにこっぴどく叱られた記憶があります。クマゼミのせいです。真ん中の写真はアブラゼミです。昔は大量発生し、しかも低い枝にもとまるので、比較的簡単に手に入りました。鳴き声がうるさいので追い払うだけで、捕まえる気にもなりません。ただ、2年生国語の教材『クマゼミ増加の原因を探る』で、竜北生の皆さんも真剣に学んだように、今は暑さに比較的強いクマゼミの勢力に押されて、個体数が減っているとのこと。そのうちに「茶色のダイヤ」などと呼ばれ、希少価値となってしまうかも知れません。右の写真は抜け殻です。かなり高い位置まで登って羽化しているのですが、何年も地中で過ごした蝉の幼虫は、地上の暑さに驚いたことでしょう。この酷暑の連続では、来年も蝉の姿を見られる保証はありませんね……。

もう一つ、「夏の風物詩」と言えば海水浴です。子どもの頃は家族で三河湾の海水浴場、大学生になり車に乗るようになってからは知多半島の内海海水浴場、福井県若狭の海へよく出掛けたものです。当時のビーチは、パラソルで砂浜が見えないぐらい、大勢のファミリーやカップルが詰め掛けていました。ところが、先日のニュースで映った内海海水浴場は、パラソルも人も疎(まば)らで寂しい風景でした。紫外線の強さや灼熱の砂浜など、海水浴どころではないのでしょうか。あの頃、かっこよく日焼けし、ぴかぴかのビーチ・ボーイだった私は、いい時代に生まれたのかも知れません。遠い昔の記憶ですが……。

夏休みに入ってから一週間。西三大会の応援に出掛けた私は、それぞれの会場で竜北生の真剣な姿を目にすることができ、幸せな時間を過ごすことができました。竜北中学校の校長として、竜北生の皆さんに出会えて本当に嬉しいです。「竜北生、Thank you!!」

先日、車のメーターに示された「外気温」は43℃でした。熱すぎハンドルも握れません。日向を歩いていると意識が朦朧としてきます。保護者の皆様も、健康にはご留意を！

(令和8年7月24日)